

豊かで魅力ある地域づくりに活かそう新技術

建設技術フェア2003 in 中部



「建設技術フェア 2003in 中部」は、官公庁、地方自治体、学術団体、建設業団体等37機関で構成される実行委員会の主催により、平成15年11月12日(水)と13日(木)の2日間、ナゴヤドームにおいて開催しました。

過去最高の207出展者による370以上の新技術・新工法の展示・実演を8つに分野分け、より分かり易い展示にするとともに、「なぜ?なに?体験学習エリア」、「中部のまちづくりエリア」、「愛知万博(長久手会場)工事現場見学会」などを主催者として企画し、2日間でのべ13,600名の入場者を迎えることができました。

建設技術フェアは、建設分野における新しい技術や工法の活用について産・学・官の技術情報交流の場を提供し、技術開発や新技術導入の促進に資するとともに、今後、建設分野の仕事に携わるであろう学生を含めて、広く一般の方々に建設技術の魅力および社会資本整備の必要性を紹介していくことを目的として開催しています。

「建設技術フェア 2003 in 中部」 来場者数(速報値)

()内は昨年度の実績

企業	7,030人	(6,820人)
一般	2,050人	(880人)
学校	2,210人	(2,340人)
官公庁	2,310人	(2,260人)
合計	13,600人	(12,300人)

主催

建設技術フェアin中部実行委員会

(官公庁・公団公社・学術団体・建設業団体等37機関)



セーフティウォール工法研究会



〒135-0034 東京都江東区永代 1-3-4 tel 03-5621-8051
セーフティウォール工法 (ASW工法) 九州代理店
新技術情報 NETIS 登録 登録番号 CB-030033

豊かで魅力ある地域づくりに活かそう新技術 建設技術フェア2003 in 中部



プレゼンボードによる説明

2003年に開催されました建設技術フェア模様を紹介いたします。会場は、愛知県名古屋市にありますナゴヤドームで開催されました。二日間の日程で行われ両日とも官公庁民間(設計・施工)の方々が訪れ盛況のうちに終了いたしました。また、各地域での開催がありましたらセーフティウォール工法を広報・説明を積極的に行いたいと思います。その際は、皆様のご来場をお待ちしております。



牛深建材商事(株)の酒井です。よろしくお願ひします。

プロジェクターによるセーフティウォール工法の説明

足立建築設計事務所
技術スタッフ岡田工学博士

この方がセーフティウォール工法を考案された足立氏です。



展示説明用模型(ブラケット型)

